

OB会報

NO. 46 (2013. 2. 20)

三河郷友会OB会

ご挨拶

公益財団法人 三河郷友会
理事長 後藤 彰彦

OBの皆様ならびに関係各位には、お健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、平素は当財団の運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、『OB会報』（第45号、2012. 7. 10）でご報告いたしましたように、昨年4月1日付をもちまして「公益財団法人」として認可され、新たなスタートをきることができました。これもひとえに皆様のご理解とご支援の賜と心から御礼申し上げます。

ところで昨今、愛知県下から上京してくる女子学生が千人近くに達し、関係各方面から女子学生寮建設の要望が当財団にも寄せられています。そうした状況に鑑み、公益財団法人移行への事業の一環として築55年を経過した旧館（50人寮）を立て替えて、新たに女子寮の建設に踏み切ることといたしました。

現在、中村民雄常務理事を中心に建設準備委員会（大沼敏行理事、山田渉理事、増村清人評議員、酒井崇之事務長）を立ち上げ、遅くとも平成27年3月までに完成すべく鋭意検討を重ねていますので、内容が固まり次第ご報告申し上げたいと思っています。

女子寮が完成した暁には、新館の男子寮と合わせて男女併設の学生寮が誕生いたします。都内にあまたある財団等が運営する学生寮の中で、男女併設の学生寮は稀有な例となり一躍注目を浴びることになりましょう。運営に当たりましては、学生達との連携やコミュニケーションを緊密に図りながら健全な寮運営に邁進し、皆様のご期待に応えて参りたいと考えています。

昨今、学生寮の良さが再び求められています。特に、寮暮らしの学生には企業も注目していて、採用に当たっては「協調性がある」「コミュニケーション能力が高い」などの面で評価する傾向にあると伺っています。まさに、わが三河郷友会学生寮は長い歴史と伝統に培われた集団生活を通して「協調性」を育み、「幅広い人間関係」の構築に努め、切磋琢磨することによって「コミュニケーション能力」の向上が図られるという理想の場であります。

本年3月には、新館の男子寮がリニューアルしましたので2年ぶりに入寮生を募集いたしますので、多くの学生が応募してくれることを期待しています。

最後になりましたが、OBの皆様ならびに関係各位のご健勝とご多幸を記念いたしますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（この「ご挨拶」は、三河郷友会ホームページに掲載されたものを転載したものです。）

女子寮建築準備委員会の報告

委員長 中村 民雄

平成 24 年 11 月 4 日、第 3 回理事会において、中村民雄常務理事を委員長に、大沼敏行理事、山田渉理事、増村清人評議員、酒井崇之事務長による女子寮建築準備委員会が発足しました。年末の慌ただしい中、メールのやりとりや情報交換をしながら、委員会としては 2 回開催し、意見集約したものを 2 月 3 日の第 4 回理事会に中間報告したものです。都内にある公益財団法人としては珍しい試みとなる、同一敷地内に男女別棟の学生寮建築にむけて、いただいた貴重なご意見を踏まえてさらに充実させていきたいと思っております。また、できれば現在高校 1 年生の女子生徒からも意見を伺い、反映できればと考えています。

なお、ここに至るまでには、お茶の水女子大学（以下、「お茶大」という）で開催された「学生寮シンポジウムー大学の戦略と教育可能性ー」（平成 24 年 8 月 31 日開催）に参加し、新しい大学女子寮の動向についても学んできました。中でもお茶大が取り組んでいる SCC を参考に、三河郷友会女子寮建築のコンセプトを探ることとしました。お茶大では、「寮生同士の交流」「主体性・自律性を養う」「広い視野・学習の促進」の 3 つの理念を掲げて、10 人で構成するハウス制（プライベートスペースと共有スペースを区分）を採用しています。今はやりのルームシェア方式というやつです。

これに対し、わが三河郷友会の女子寮は、「愛知県の三河部から東京へ出てきた女子学生が共同生活をおくりながら、三河郷友会学生寮の理念である independence&cooperation（自立と協同）の精神を培い、社会に有用な人財を育成することを目的とする。」ことを掲げました。1・2 年生のうちはルームシェア方式を採用し、3・4 年生になったら個室に移る方式を考えています。もちろん、昭和 30 年代にできた三河寮（男子寮）のようなプライバシーのない相部屋方式ではなく、リビングを共有スペースとし、寝室などは個室として区分した広い意味でのルームシェア方式を指します。ただし、個室部分の設備（ベッド・クローゼット・机・ユニットバス・洗面・トイレ・・・）をどこまで制限できるか、頭の痛いところです。今のところは、ユニットバスを共有にするか、トイレを共有にするか検討中です。洗濯・乾燥機と簡単な調理場（夕食は、男子寮の食堂を利用し、郷友会としての一体性・交流をはかる）はフロアで共有することを考えています。また、3・4 年生の個室にしても、学生寮（固定資産税が非課税）ですから、キッチンからバス・トイレ、洗濯・乾燥機のどの部分を共有化するか、こちらも考えどころです。こちらも今のところ、キッチン（夕食は、男子寮の食堂を利用する）と洗濯・乾燥機の共有を考えています。

さらに、検討しなければならないのが「安心安全」の問題です。入口のオートロックや防犯カメラ、建物周辺の夜間照明などセキュリティに十分配慮した建築計画にする必要があります。もちろん、学生寮ですから、居住空間を中心とした管理・運営は学生自身の自治組織に任せることとなります。そのためにも、女子寮全体を統括する自治会、フロアの管理・運営を司るフロア会など、学生によるルールづくりが重要になります。これらの仕組みづくりは、男子寮で培ったノウハウを生かし、最初の入寮生とともに手探りで進めていかざるを得ません。また、各フロア（日常的な生活共同体）は、1～4 年生までの混合型を考えていますが、部屋にこもりきりにならないような“しくみづくり”も今から考えておく必要があります。男子寮と女子寮が隣接することをメリットとして最大限生かし、長期休暇などで女子が極端に少なくなった場合、それとなく見回るなど、互いの協力関係を築いていくことも重要なことだと考えています。

いずれにしても、郷友会の役員はもちろんのこと、在寮生・OB 各位のご協力の下、よりよいものを築いていきたいと思っておりますので、ご意見等お寄せいただきたくお待ち申し上げます。

平成 24 年度 O B 会費納入者一覧 (平成 24 年 5 月 1 日～平成 25 年 1 月 8 日現在)

筒井健太郎	8,000 (普・特)	天野 克彦	10,500 (普・百)	水野 隆司	3,000 (普)
鳥山 満	3,000 (普)	仁枝 洋昭	10,000 (特 2)	水野 克宣	3,000 (普)
白井 孝一	3,000 (普)	高山 潤一	3,000 (普)	山口 迪彦	3,000 (普)
柴田 昭文	5,000 (特)	中村 民雄	13,000 (普・特 2)	山田 真己	5,000 (特)
杉田 義明	8,000 (普・特)	小田忠市郎	3,000 (普)	杉浦 嘉久	8,000 (普・特)
中島 樹志	3,000 (普)	紀岡 義博	3,000 (普)	杉浦 淳雄	23,000 (普・建築)
浅岡 林平	3,000 (普)	尾崎 良康	5,000 (普)	村田 寿	3,000 (普)
小笠原昇一	3,000 (普)	味岡 秀樹	28,000 (普・特・建築)	荒牧 功	3,000 (普)
宮田 隆之	3,000 (普)	加藤 吉男	3,000 (普)	永坂 佑之	10,000 (特 2)
鳥居 延行	28,000 (普・特・建築)	渡辺 乃康	3,000 (普)	加藤 博和	3,000 (普)
伊藤 明義	8,000 (普・特)	竹元 宏和	8,000 (普・特)	松田 健	3,000 (普)
市川 薫	8,000 (普・特)	鈴木 拓郎	3,000 (普)	長谷 貴光	3,000 (普)
城處 求行	8,000 (普・特)	深沢 泰司	8,500 (特)	早川久右衛門	3,000 (普)
安田 隆清	3,000 (普)	中村 裕明	3,000 (普)	小野寺雅史	3,000 (普)
足立 秀夫	3,000 (普)	神谷 潔	3,000 (普)	梁瀬 光章	5,000 (特)
曾田 幸子	3,000 (普)	村松 誠	3,000 (普)	江崎 哲	3,000 (普)
川合 靖幹	3,000 (普)	山本 智永	8,000 (普・特)	牧野 成憲	3,000 (普)
浅井 和彦	3,000 (普)	岡本 浩之	3,000 (普)	榊原 琢也	3,000 (普)
梅田健太郎	3,000 (普)	高原 雅美	28,000 (普・特・建築)	岩佐 正輝	3,000 (普)
武田 正道	3,000 (普)	尾崎 雅輝	5,000 (特)	縣 通夫	5,000 (普)
後藤 俊広	8,000 (普・特)	梅村 耕一	3,000 (普)	山田 涉	8,000 (普・特)
佐藤 公彦	13,000 (普・特 2)	伴 謙吾	28,000 (普・特・建築)	藤野 宏之	5,000 (特)
伊藤 学	3,000 (普)	杉下 和夫	3,000 (普)	石川 邦雄	3,000 (普)
服部 具明	3,000 (普)	安川 彰吉	3,000 (普)	石川吉之助	3,000 (普)
荒木 毅	10,500 (普・百)	神谷 寿興	3,000 (普)	鈴木伊能勢	5,000 (普)
井関 豊	3,000 (普)	金田 季三	3,000 (普)	鈴木 章悦	3,000 (普)
岩月 昭佳	5,000 (特)	寺沢 征吾	3,000 (普)	山崎 宣典	23,000 (普・建築)
村田 年彦	3,000 (普)	三ツ口尚志	3,000 (普)	中村 正人	3,000 (普)
石川 周二	3,000 (普)	荻野 寿喜	5,000 (特)	永田 靖章	5,000 (特)
上原 智史	8,000 (普・特)	工藤 憲治	3,000 (普)	芦沢 次郎	8,000 (普・特)
多々内正寛	3,000 (普)	加藤 定彦	3,000 (普)	竹内 洋二	3,000 (普)
工藤 圭章	3,000 (普)	大沢 誠	3,000 (普)	片山 到	3,000 (普)
竹内 義人	3,000 (普)	築山 哲也	3,000 (普)	真鍋 幸平	3,000 (普)
山崎 秀克	28,000 (普・特・建築)	深津 繁人	3,000 (普)	稲垣 裕章	8,000 (普・特)
大坪ひろし	28,000 (普・特・建築)	川出伊左男	3,000 (普)	永井 寛	8,000 (普・特)
稲垣 暁	3,000 (普)	杉浦 隆	8,000 (普・特)	都築 讓	8,000 (普・特)
富川 学	8,000 (普・特)	河崎 吉廣	8,000 (普・特)	福井 康光	23,000 (普・建築)
外山滋比古	3,000 (普)	村松 幹人	3,000 (普)	川崎 英輝	3,000 (普)
紅林 淳	8,000 (普・特)	鈴木 基秀	3,000 (普)	前田 稔	8,000 (普・特)
大林 市郎	13,000 (普・特 2)	藤田 和之	3,000 (普)	鈴木 義久	3,000 (普)

松井 敏夫	3,000 (普)	早川 勝博	3,000 (普)	岩瀬 真生	3,000 (普)
増村 清人	28,000 (普・特・建築)	鬼頭 誠	8,000 (普・特)	鶴田 清文	3,000 (普)
壁谷 宜男	5,000 (特)	鈴木 健穰	3,000 (普)	大西 伸一	3,000 (普)
川崎 隆治	3,000 (普)	田淵 学	5,000 (特)	満田 稔	5,000 (特)
藤澤 孝好	3,000 (普)	鈴木 宏彰	3,000 (普)	築瀬 正邦	3,000 (普)
中山 治彦	3,000 (普)	都築 慎治	3,000 (普)	柴田 裕	3,000 (普)
村木 央明	3,000 (普)	川出 巖郎	3,000 (普)	谷川 憲三	8,000 (普・特)
勝永 浩史	3,000 (普)	野村弥寿男	3,000 (普)	大沼 敏行	8,000 (普・特)
南 孝三郎	13,000 (普・特2)	平野 元	10,000 (特2)	小沢 洋介	103,000 (普・建築5)
小川 源八	3,000 (普)	堀内 康平	5,000 (特)	中西 雅俊	3,000 (普)
稲垣 正浩	3,000 (普)	鈴木 一元	8,000 (普・特)	南崎 仁志	3,000 (普)
大竹 有二	3,000 (普)	榊原 潤	8,000 (普・特)	山口 豊彦	5,000 (普)
兼子 聡	3,000 (普)	内田 肅	3,000 (普)	後藤 昌彦	13,000 (普・特2)
永谷 在	3,000 (普)	杉野弘太郎	8,000 (普・特)	後藤 彰彦	23,000 (普・建築)
林 全宏	3,000 (普)	寺島 隆	12,500 (特・百)	榊原 麻二	3,000 (普)
名倉 孝行	3,000 (普)	曾田 邦義	3,000 (普)	徳倉 正晴	8,000 (普・特)
杉浦 純平	3,000 (普)	筒井健太郎	8,000 (普・特)	杉浦 志樹	3,000 (普)
柴田 久雄	3,000 (普)				

平成 24 年度 O B 会費納入について

三河郷友会 O B 会会則にもとづき、平成 24 年度の会費をご納入下さいますようお願いいたします。
 なお、ご入金は郵便振替（00150-8-27434 三河郷友会 O B 会）でお願いします。

普通会費 3,000円

特別会費（1口） 5,000円

改築資金積立金（1口） 20,000円

創立百年史（残部僅少） 7,500円

*特別会費、建築資金積立金は、公益財団法人三河郷友会へ財政援助金として計上させていただきます。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜あ と が き＞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

平成 24 年度は、公益財団法人への移行にともないホームページの刷新が求められました。学生が自主運営していたものを財団が積極的に採りこんで全く新しいものになりましたので、ぜひご覧になってください。ご意見等をお待ちしています。 (寮監 中村)

O B 会事務局

〒112-0002

東京都文京区小石川 5-19-37

公益財団法人 三河郷友会内

TEL 03-3946-0342 (事務長：酒井)

Mikawagoyukai2009@oasis.ocn.ne.jp